

主催：公益社団法人日本語教育学会

後援：沼津市教育委員会

開催日：2018年11月24日（土）・25日（日）

会場：プラサ ヴェルデ（静岡県沼津市）

日本語教育学会では、最新の研究と実践の成果の発信・共有や、参加者間の交流・ネットワーキングの促進を目的とした大会を年2回（春・秋）開催しており、大会委員会はその企画・運営を行っています。今年度の秋季大会は「外国人住民の安全と安心のための日本語教育」を大会テーマに据え、692名の参加がありました。一般公開プログラム（外国人住民と共に考える安心安全な町づくり）には一般参加を含め約200名の参加があり、参加者からの質問も積極的に出されていました。公募によるパネルセッション4件、口頭発表36件、及び、ポスター発表37件の発表が、審査・運営協力員の協力を得て行われ、各会場では会場に入りきれないほどの参加者で大変盛況となりました。参加者による事後アンケートでも概ね好評で、皆様に満足していただけたようです。このほか、ぷらさ da わかば（チャレンジ支援委員会）、交流ひろば（支部活動委員会）、研究倫理セミナー（調査研究推進委員会）なども同時開催され、充実した2日間になったと思われまます。24日（土）に行われた懇親会には121名の参加者があり、参加者同士の積極的な交流が見られました。大会プログラム及び発表要旨は[こちら](#)をご覧ください。



開会式・会長挨拶（24日）



パネルセッション（24日）



ポスター発表（25日）



口頭発表（25日）

次回は2019年5月25日（土）・26日（日）につくば国際会議場（茨城県つくば市）にて開催予定です。

（文責：大会委員会）